

## 2021-22 年度タイムオブファースト (Time of Fast) 実施プロジェクトの紹介

注：金額単位はスイスフラン (CHF) で 1 CHF は日本円にして 120 円程度

### 1. アフリカ、カメルーン 申請者：La Colombe ワイズ

プロジェクトのねらい：移住民女性 (200 人) に有機農業を指導し、自立した生活を送るのに必要な訓練と、農機具、種などの提供を行う。

現地の状況：カメルーンの西側は政治不安定のため暴力、食糧難が頻繁に起こり、移住生活を強いられている人が多い。

プロジェクトの内容：特に若い女性への支援策をワイズと共に、現地で有機農法を専門にしている NGO の協力を得て行う。

申請額：14,912 スイスフラン(CHF) 支給決定額：7,500CHF

### 2. アフリカ ジンバブエ 申請者：ジンバブエ YMCA 同盟

プロジェクトのねらい：20 人のユースの職業訓練をして 80 種類の農産物を生産する。

現地の状況：ジンバブエでは、1 日 2 ドル以下の貧困生活者が多く、95%の若者は失業している。その結果、麻薬使用や若い女性の妊娠などが多い。

プロジェクトの内容：YMCA が、対象者 20 人の選考をし、職業訓練を行い、新しい職業に必要な道具、継続的なアドバイスと訓練 (市場開発、ビジネスプラン、金銭管理など) を 6 か月から 12 か月行う。

申請額：15,000CHF 支給決定額：7,500CHF

### 3. アフリカ孤児を支援するケニヤ YMCA プロジェクトを Ostenstad ワイズ (ノルウェー) が協力

プロジェクトのねらい：ケニヤにある孤児の学校「希望の泉」の建物のドアと窓を建設する費用に充てる。

現地の状況：希望の泉 (Oasis of Hope) はノルウェーの NGO で 2013 年から孤児や貧困家庭の子どもの学校である。現在子ども 245 人と先生 15 人いる。毎日食事 2 回提供する。

プロジェクトの内容：新しい学校は 14 教室と図書館、事務所からなる 2 階建て。そのドアや窓の資金提供をする。

申請額：14,980CHF 支給決定額：14,980 CHF

### 4. アフリカ支援を目指す韓国世界ハン川テグーワイズがルワンダ政府と協働プロジェクト

プロジェクトのねらい：豚を飼育するプロジェクトの一環で、豚の購入、必要な薬剤や飼料、飼育小屋を提供。ルワンダの貧困地域にいる 200 家族の生活支援のために、1 家族に 1 頭の豚を提供し、飼育をすることによって収入を得られるように。

現地の状況：ルワンダは最貧国であり、人々にとり、豚の飼育をすることが安価で安全と確

実な生活改善方法として認められている。

プロジェクトの内容：韓国ワイズの有志は、現地の家族の中からプロジェクトに適している家族を選考し、各家庭に一頭の豚と必要な小屋を提供する。3か年計画のプロジェクト。

申請額：15,000CHF 支給決定額：15,000CHF

#### 5. マレーシア南ジェホー イーグルスワイズによる貧困地域における農業推進

プロジェクトのねらい：貧困家庭用の集合住宅の住民を対象に水耕栽培の農業指導をして、野菜等の栽培を奨励する。それによって安定した生活を保証できる。

現地の状況：マレーシアの農業技術は遅れている。それによって食料の安定的な提供ができないところが多い。特に、貧困家庭は、農地の確保も難しく、流通もスムーズに行われていない。そんな中でこれらの家庭に新鮮な野菜を届けたいと考えている。

プロジェクトの内容：地域にある2つの集合住宅に住む30人を対象に有機栽培を学んで農業にかかわることを目指している。安全安心な食糧を確保できるように指導していく。農業だけでなく、魚介類にもチャレンジする。水耕栽培用の器具はプロジェクト後も使用を続けていけるようにする

申請額：13,373CHF 支給決定額：13,373CHF

#### 6. インド、ナガプールワイズによる Yハンガークルセード プロジェクト

プロジェクトのねらい：ナガプールの貧困家庭へ食料を定期的、持続的に届けるために車両を得て、担当者を採用する。

現地の状況：ナガプールでは人口の40%がスラム地域に住んでいる。市内には289か所のスラムがあり、他にも違法スラムが135か所に存在している。住人は、ほとんどが手押し車を引き回す仕事や、道端での物売り、家事援助、移住労働者であり、1か月の収入も65CHF以下、中には25CHF以下で生活している者もいる。

プロジェクトの内容：今後1年間、これらのスラムの住民へ毎週1300人分の食材などをバックに入れてわたしていく。

申請額：14,297CHF 支給決定額：5,000CHF

#### 7. インドグリーンアスターワイズと地元NPOとの Santhwana ホスピスケア

プロジェクトのねらい：過去にワイズによって建てられた貧困者のがん末期患者のホスピスがある。そこで働く女性スタッフや研修生の子どもたちの住居となる集合住宅の建築費用の一部に資金をあてる。入居者からは賃料を集めるが、ホスピス運営の資金として使われる。

現地の状況：インドにおけるがん患者はこの26年で2倍になっている。多くのインド市民は教育も受けていないことが多く、医療費も払えない状況である。それらの費用を支援する国や州の制度もなく、病院の運営や維持費の多くは地元ワイズの協力によって維持されてきた。住居の賃料収入は、病院の運営資金にも充てられることになる。

プロジェクトの内容:このプロジェクト前段階で50人の入院施設を改造して新たながん患者用病棟とする。そして今回のTOF資金は50人の女性職員のホステルとして活用される。貧しいながらも若く優秀な女性に対して無料で医療訓練を施す。その他に、血液ドナーを促す呼びかけも病院と協力して行われる。さらに、病気への備え、予防、健康診断なども貧困地域の住人に提供される。

申請額:15,000CHF 支給決定額:15,000CHF

#### 8. 南米チリのサンチアゴYMCAとワイズによるパンデミック中の若者と女性へのサポートプロジェクトへの支援

プロジェクトのねらい:若者や女性の教育を通して小規模の自営業を立ち上げ、運営できるようにする。そのための資金を応募してきた中から5つ選考し、パンデミック中の雇用確保とその後の仕事確保を目指す。

現地の状況:YMCAは市内の中でも過去30年最も貧しい地域で運営されている。コロナ感染症の蔓延によって、貧しい人たちの失業、時間短縮労働、さらにはロックダウンなどで外出もできない状況が続いている。

プロジェクトの内容:30人の若者(16-30才)と50人の女性(20-70才)を募集し、オンラインでの教育を可能にし、金銭管理や使い方、新たな仕事(特に料理分野)を作り出す準備教育を行う。また、行政や支援団体が開設する資金援助への申し込み方なども教える。応募された事業計画の中で5つの優秀な計画を選考し、支援金を提供する。

申請額:14,947CHF 支給決定額:14,947CHF

以上 申請数合計11プロジェクト、内8プロジェクトに支援決定

プロジェクト総支給予定額 93,300CHF(日本円で約1120万円)

YMI TOF 選考委員の一人としての感想:

3年ほど前からYMCAリエゾンという立場で、TOF選考委員に指名された。TOF委員は10名で会長は韓国のISD Kim氏でほぼ世界各地から委員が出ている。委員には応募されたプロジェクトごとに1ページにまとめられて送られてくる。今年度は全部で11プロジェクトの申請があった。委員は一人一人、送られた選考基準17項目に沿って点数を入れていく。その合計点が集計され、委員全員の集計ポイントが付けられ、それによって支援対象とするかどうか、支援希望額(最大で15,000スイスフランまで)の内、いくらまで支援するかなどを決めて最終選考をする。今回は11プロジェクトの応募で8プロジェクトが選ばれた。その内、3つのプロジェクトに関しては支援希望額の半分程度のみ支援することになった。今年度は特別にコロナの状況にあった活動かどうか選考の際の基準に入れられていた。